

**学校給食費無償化に関する制度の導入に伴う条例等の一部改正の骨子  
に対するパブリックコメントの実施結果について**

**1 意見募集期間**

令和5年9月1日（金曜日）から令和5年10月2日（月曜日）まで

**2 意見の件数等**

- (1) 意見をいただいた人数      3人
- (2) 意見の件数                      12件
- (3) 案に反映した意見の数        0件

**3 意見と市の考え方**

別紙「パブリックコメントにおける意見の概要及び市の考え方」のとおり

**4 お問合せ先**

- (1) 担当課名    学校給食課
- (2) 連絡先      046-225-2683

**5 結果公開日**

令和5年11月6日    公開

**学校給食費無償化に関する制度の導入に伴う条例等の一部改正の骨子  
に対するパブリックコメントにおける意見の概要及び市の考え方**

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
<b>骨子全体</b>			
1	骨子の内容は良いと思いましたが、無償化賛成です。条例の一部改正も賛成です。	令和6年4月からの学校給食費無償化の実施に向け取り組んでいるところです。 無償化後も安心・安全でおいしい給食を実施していきます。	
<b>4 学校給食費無償化及びその対象者について</b>			
2	持続可能な施策とするため、多子家庭向けに上限を設けた上で、低額の一部負担を残してはどうでしょうか。	家庭状況や保護者の経済状況で区別しない子育て支援施策が必要と考え、学校給食費無償化に向け取り組んでいるところです。	
<b>5 学校給食費相当額の補助について</b>			
3	学校給食費無償化についてアレルギー対応による給付があることは良いと思います。 (アレルギー等により、お弁当を持参している児童等の保護者への対応)	本市の全ての子どもの食の環境を社会全体で支えるという考えの下、給食の提供を受けられない学齢期の子どもへの保護者に対し、学校給食費相当額を申請により給付する制度を創設するものです。	
4	色々な家庭があるため、申請制度の周知、申請方法を丁寧にして、申請しやすい対応をお願いします。	学校給食費相当額の補助については広報あつぎ等で周知するほか対象者への個別の御案内を予定しています。	
<b>6 学校給食費の見直しについて</b>			
5	小学校5900円、中学校6600円の一人当たりの年額増、ありがとうございます。今後も状況に応じた見直しをお願いします。	今後につきましても、必要に応じて見直しを行う予定です。	

7 厚木市学校給食費に関する条例及び施行規則の一部改正について		
6	<p>学校給食費の徴収について（改正後）の欄にある、学校給食費は、徴収しない。の後の【ただし～この限りでない。】は分かりづらいので、補足があれば必要ないと思います。</p>	<p>「ただし～この限りでない。」の部分は、補足で説明している、保護者が教育扶助を受けている児童・生徒の学校給食費は公費で負担しているため無償化の対象外とする旨を条文として整理したものです。</p>
その他		
7	<p>JAなどと協力し、給食用食材専用の農園を作ったり、農家と提携したりしてはどうか。また、授業の一環として、その農園で農業体験を行ってはどうか。</p>	<p>現在のところ、給食食材専用の農園を作ることは予定していませんが、地場農産物の学校給食での活用や食農教育の推進に当たっては、JAあつぎや地域の生産者の皆様と連携・協力しております。</p>
8	<p>厚木の農業を守るため、子どもたちに農業の大切さを伝えるため、厚木市内産の野菜、お米、食材を優先して使ってください。</p>	<p>地場農産物の学校給食での活用につきましては、令和5年9月から月3回程度から月5回程度に拡充したところです。引き続き、地場農産物の学校給食での活用に取り組んでいきます。</p>
9	<p>お楽しみ給食に出ている乳酸菌飲料等の代替の飲み物はないのでしょうか。もしくは人工甘味料を含む乳酸菌飲料等は病気の発症の問題になっているので提供中止してほしいです。</p>	<p>人工甘味料を含む乳酸菌飲料等については、お楽しみ給食を含めて、現在提供しておりません。</p>
10	<p>牛乳をやめお茶にすることで予算を確保してはどうか。</p>	<p>学校給食は文部科学省の定める「学校給食摂取基準」に基づき、栄養士が献立を作成しております。牛乳は、子どもたちの成長に欠かすことのできないカルシウムを確保するために必要な食品として提供しております。</p>

11	給食費無償化に伴い、食材の質が下がることは避けていただきたいです。	無償化後も、文部科学省の定める「学校給食摂取基準」に基づき、安心安全で子どもに喜んでもらえる給食を提供していきます。	
12	何をもって安全というのか基準を明示してほしいです。	学校給食に使用する食材につきましては、一般的に市場で流通している食材を使用しており、加工品等につきましては、納入業者より配合内容等が記載されている物資規格書を提出していただき、内容を確認し、選定しております。	